

* 重要急告事項 *

躰道部創設50周年記念式典のお知らせ

既報の通り、本年は谷口先生が躰道部の前身である東京医科歯科空手道部を昭和33年(1958年)に、創設されてから50周年という節目の年にあたります。3年前に記念誌出版会を兼ねた仁雄会創設45周年記念式典を行いました。あのときは急に起きた地震のため欠席された先生方も多くおられ、また「半世紀」というのはとにかく大変な年月ですのでやはりまた式典を行う必要があると考え、仁雄会と躰道部の共催という形で企画させていただきました。日時は土曜日だと開業されている先生方の診察日にあたる場合が多く、日曜日は遠方の先生方に負担をかけることとなりますので、ちょうど本年は海の日に関連する連休がありますので、連休初日の**7月20日(日)17時より**行うことにいたしました。夏の暑い時期ですがこの時期をのがすと諸事情から来年2月以降になってしまいますのでなにとぞご了承下さい。下記にもご報告させていただきますように、仁雄会会員の訃報もぼつぼつと入るようになりました。物故会員の皆様には失礼な言い方になるかもしれませんが、現会員が健康な状態で一同に会する機会が次にいつ開けるかわからない状態ですので、先生方におかれましては、今からスケジュールを調整し**(7月20日(日))**をカレンダーにマークしておいてください、是非とも記念式典にご出席されますようお願い申し上げます。詳細については仁雄会報とは別に5月終わり頃に正式な案内状を発送する予定としておりますのでお待ちになってください。

記

名称 東京医科歯科大学躰道部創設50周年記念式典(仮称)
日時 平成20年7月20日(日) 17時より
場所 東京ガーデンパレス
会費 10,000円前後の予定

なお、出席者には本年度の年会費のご請求もさせていただく予定ですので、恐れ入りますが本年度の会費を納入されていない方は、次の振込先までご納入くださいますようお願いいたします。会費は**医学部、歯学部卒1万円、パラメディカルおよび保健衛生学科卒5千円**です。

加入者名 東京医科歯科大学 仁雄会
口座番号 00130-5- 36708

* 中島一憲先生(医学部昭和57年卒)ご逝去

昨年11月6日、三楽病院精神科に勤務されていた、中島一憲先生が悪性リンパ腫のためご逝去されました。中島先生は私(柴田)と同期で、まだ51歳の若さでした。仁雄会からご遺族あてにご香典を送らせていただきました。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

* 中島一憲先生を悼む 柴田俊一(昭和57年歯学部卒、仁雄会事務局長)

昨年、風の便りで体調がすぐれない旨は聞いていたが、突然中島の訃報が入り、たいへん動揺いたしました。我々が医科歯科大学に入学した躰道部に入部したのは、ルーマニアのナディア＝コマネチが10点満点を連発した、モントリオール五輪の年(昭和51年＝1976年)である。この年は全日本躰道選手権大会が10回の記念大会を行った年でもあり、まさに21世紀に向けて躰道が新武道として軌道に乗りはじめた時期でもあります。私は新歓合宿の直前に入部したこともあり、中島と最初に会ったのは今はなくなった霞ヶ浦の合宿所であったと記憶している。この年は初めて女子部員を受け入れた記念すべき年でもあるのだが、最初は女子が5人、男子が7人入部し、中島は廣大付属福山高校出身であり、写真で見ると長髪でルックスもよく、男性コロンを愛用しており、

一言でいうと「そのダンディさ」で異彩を放つ人物であった。趣味も野球、競馬、プロレス好きであった私とはかなり趣を異にし、文学好きでゲーテ、カフカなどを読んでいて、教養時代には自宅で小説も書いていたようである。ただ、高名な文学者にもそういう人物がよく見受けられるが、「恋愛論」にも精通しており、純情奥手な少年であった私は彼からいろいろ教えてもらった記憶もある。躰道の実技面では転技を中心とする、いわゆる「体が利く」選手であり、法形、展開中心にその活躍ぶりもすばらしいものがあった。医者出身の文学者は、北杜夫氏、なだいなだ氏を初め精神科出身の方が多いが、文学的素養のある中島も当然のように精神科を専攻しその道へ進むことになった。残念ながら卒業後はあまり躰道部関係のイベントには出席しなかったが、私は当時新松戸に住んでいた関係で松戸の恩田病院に勤務していた彼とは、よく電車で一緒になり、いろいろ話を聞く機会があったがまさに天職に就いているという感じであった。

体調がすぐれないと聞いたとき、体調を問う手紙も送ったのだがその返事が来るよりも先に訃報が来てしまった。また私が北海道在住になったため、情報を入手するのが遅くなり葬儀にも参列することはできず、悔いも残っているが、私には「ダンディなイメージのまま」さらりといなくなったという印象が強く、ある意味中島らしいと言えるかもしれないとも思っています。中島の大変若い逝去を心から惜しむとともに、自分の健康も真剣に考えねばいけない年代になったことを痛感している次第です。



左より佐藤、高田、中島、筆者(柴田)、大村(座っている人物)、鬼澤、木本の各先生
(昭和54年、霞ヶ浦新歓合宿より)

* 奥藤百世先生(歯学部昭和41年卒)ご逝去

本年1月18日、奥藤百世先生(歯学部昭和42年卒)が急逝されました。先生のご逝去を悼み心からお悔やみ申しあげます。仁雄会からは花輪を送らせていただきました。なお奥藤先生への追悼文等は次号に掲載させていただきます。予定です。

* 大会結果

* 第41回全国学生躰道優勝大会 平成19年10月20日(土)於東京武道館
男子団体法形競技 予選B組3位 (2位まで決勝進出)
女子団体法形競技 予選B組3位 (同上)
新人団体法形競技 予選B組7位 (3位まで決勝進出)
女子個人法形競技 ベスト8(池尾茉莉)

女子個人実戦競技 ベスト8(林 薫里)

私(柴田)が北海道医療大学へ赴任してから最初の大会であり、形式的ではあるものの私が北医療大教官として躰道部を引率する形での参加となりました。女子個人実戦で、医歯大・佐々木対北医療大前主将・窪田の対戦があり、佐々木が長い脚を利した回状蹴りで勝利し、私にとっては佐々木が「憎き相手」となりました。それはともかくとして、たまたまスタンドで両校が隣り合わせであったので思わぬ交流もでき、なかなか楽しく意義あるものでした。医歯大躰道部は残念ながら各競技とも予選通過までもう一息というところでしたが、個人戦ベスト8もあり全日本につながるような試合はできたと思われました。

* 第41回全日本躰道選手権大会平成19年11月18(日)、於 Bumb 東京文化館

女子団体の健闘光る。

女子団体法形競技 3位

男子団体法形競技 8位

女子団体展開競技 6位

男子団体展開競技 11位

学生大会に引き続いて男女とも団法、展開に出場し、女子団法が4位で決勝に進出し、決勝では一つ上昇して見事にメダルに届きました。一つでも収穫があるかないとは大違いなので、これを自信にして来年以降にぜひつなげていただきたいと思います。個人戦では前年度チャンプである監督の宮下が千葉県から出場しましたが、初戦の旋体の法形で宮城の若手選手に敗退するという波乱がありました(宮下を破った岩間選手は勢いに乗り見事準優勝に輝きました)。また OG の江川京子が千葉県から出場し、女子個人実戦でベスト16となったことも追記しておきます。

* 平成19年度追い出しコンパ行われる

本年度は本学医学部医学科の林 薫里、森 雄太郎、保育専門学校から参加してくれている木村健太郎を送る追い出しコンパが12月18日(土)に例年どおり、新宿の焼き肉屋で行われました。会は顧問の天笠先生、馬場先生らの出席のもとで楽しく進行して行きました。医学部の二人は2年の研修を受けますが詳細は不詳との事です。木村健太郎はインターネットで躰道の事を知り、学外から部活に参加してくれた人物で、卒業後はもちろん保父さんとなって活躍するとの事です。

2次会は引き続いて新宿の居酒屋で塩崎先生、聖路加卒の寺山、雀丘らも加えて行われました。最近は会もいろいろな演出が加わっており、昔は酒を飲んで騒ぐだけだった事を思えば時代が変わった感じもするのですが、今回は試行をこらした演出はその後の3次会で行われたようで、2次会で失礼した私は詳細については残念ながら不詳です。各人が研修等で先生方のお近くに行きましたら、ぜひ可愛がってあげてください。